

# 北九州市のまちづくり

## 北九州市とSDGs

SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。2030年までに全世界で取り組む共通目標として、2015年の国連サミットで国連の全加盟国（193カ国）により採択されました。

「誰一人取り残さない」を理念とし、健康・福祉、働きがい・経済成長、気候変動対策など17のゴールと169のターゲットが掲げられています。

北九州市は2018年6月、全国で初めての「SDGs未来都市」（全国29都市）及び「自治体SDGsモデル事業」（全国10事業）に選定されました。



## 北九州市SDGs未来都市市計画

2018年6月に「SDGs未来都市」に認定されたのを受け、北九州市では同年8月に「北九州市SDGs未来都市計画」を策定しました。この計画に基づき、SDGsの達成に取り組むことで、『真の豊かさ』にあふれ、世界に貢献し、信頼される『グリーン成長都市』を目指していきます。また、このビジョンの達成に向けて、経済・社会・環境の三側面を統合的に取り組み、自律的な好循環が生まれることを目指していきます。



Kitakyushu  
SDGs

北九州市SDGsマーク

# 北九州市のSDGs戦略(ビジョン)達成に向けた取組

2030年の  
あるべき姿

【2021～2023年度の取組】

【3つの柱】

【基本的な考え方】

【具体的な取組例】

「真の豊かさ」にあふれ、世界に貢献し、信頼される「グリーン成長都市」

- ◆社会課題解決につながる「持続可能なビジネスが生まれ、育つまち」
- ◆ダイバーシティの推進による「みんなが活躍できるまち」
- ◆SDGsを踏まえた教育の実践による「未来の人材が育つまち」
- ◆環境と経済の好循環による「ゼロカーボンシティを目指すまち」
- ◆アジア諸都市を中心とした「世界のグリーンシティをけん引するまち」

**【経済】**  
「人と環境の調和により、新たな産業を拓く」



- (1) 先進のまちを目指した新たなビジネスやイノベーションの創出
- (2) 地域経済における自律的好循環の形成
- (3) 働く場の地方分散・柔軟な働き方の普及
- (4) 新たな価値観を生み出すSDGs経営の普及

- ・風力発電関連産業の総合拠点化
- ・DX等を中心とした、スタートアップ・エコシステムの拠点化推進
- ・ロボット等の開発・改良及び導入
- ・自動運転関連産業の推進
- ・脱炭素化に向けたイノベーションの推進
- ・市内企業への就職促進、新たな働き手の確保
- ・企業立地の促進による雇用創出
- ・物流拠点都市としてのプレゼンス向上
- ・地方サテライトオフィスなどの受入体制支援
- ・テレワークの推進
- ・移住・定住の促進
- ・SDGs経営を先進的に取組むモデル企業の発信
- ・「(仮称)SDGs/パートナーシップ制度」の構築
- ・「SDGs経営サポート」の活用
- ・「北九州SDGs未来都市アワード」等によるモデル事例の発信

**【社会】**  
「一人ひとりが行動し、みんなが輝く社会を拓く」



- (1) ダイバーシティの推進等による誰もが活躍できる場の創出
- (2) 市民参加型の活動による生活の質(QOL)の向上
- (3) 市民の健康(幸)寿命の延伸
- (4) 変革を支え、リードする教育・人材育成の推進
- (5) 感染症に対応した安心して暮らせる社会の構築

- ・ウーマンワークカフェ北九州を活用した女性活躍の推進
- ・誰もが働きやすいまちづくり
- ・文化・芸術を通じた相互理解による新たな未来の創造
- ・いきがい活動ステーション等を活用した高齢者のいきがいづくり
- ・障害のある人への総合的な支援
- ・災害に強いまちづくり
- ・子ども食堂の運営支援
- ・安全・安心のまちづくり
- ・健康づくり推進員の活動
- ・食生活改善推進員の活動
- ・喫煙者・受動喫煙の割合の減少
- ・SDGsの視点を踏まえたシビックプライドの醸成
- ・ESD活動の推進
- ・子どもに関する経済的・社会的な課題への対応
- ・感染症対策の推進

**【環境】**  
「世界のモデルとなる持続可能なまちを拓く」



- (1) 脱炭素エネルギーの安定的な供給体制の構築
- (2) 市民・企業との協働による循環システムの構築
- (3) コンパクトなまちの形成によるストック型社会の創造
- (4) 技術と経験を生かした国際貢献の推進

- ・エネルギーの脱炭素化
- ・再エネ100%電力化の実現
- ・住宅街区のスマート化促進
- ・風力発電関連産業の総合拠点化(再掲)
- ・世界をリードするエコタウンの形成
- ・地域環境活動の更なる促進
- ・ごみの減量と廃棄物発電
- ・集約型都市構造の形成
- ・ウォーカーブルなまちの実現
- ・人と環境に優しい交通戦略推進
- ・都市のリノベーションの推進
- ・公共施設マネジメントの推進
- ・官民連携による海外水ビジネスの展開
- ・「アジア低炭素化センター」を核とする環境改善の取組
- ・石けん系泡消火剤など世界に展開する商品の開発

## 北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略

国においては、少子高齢化・人口減少という我が国が直面する大きな課題に取り組むため、「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、東京一極集中の是正、若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現、地域の特性に即した地域課題の解決の3つの視点を基本に、魅力ある地方の創生を目指すこととしています。

これを受けて本市では、女性・若者の定着につながる魅力あるまちづくりを目指して、『北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略』を策定し、「オール北九州」による、多岐にわたる地方創生の取組を進めています。

## 地方創生のための都市ブランド「New U」

ビジネスも、暮らしも、子育ても、「あたらしいことを、はじめやすい都市。福岡県北九州市。」を広く深く認知してもらうためのスローガンです。

「New」は、「新しい」「生まれ変わる」などの意味を持つ。「U」は、「You（あなた）」のほかに、Unique（唯一の）やUniversal（全世界にわたる）など、Uからはじまる様々な単語によって、北九州市の潜在能力を表現しています。人生やビジネスの新しい物語のステージになる、北九州市。この都市の、無限の可能性を、全世界の人々にアピールし、自分ごと化してもらうきっかけをつくるスローガンです。

あたらしいことを、  
はじめやすい都市。  
福岡県北九州市。



# 第2期北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略 体系図 (令和2年度～令和6年度)

## 基本方針

産業の活性化と  
生産性の向上

質の高い暮らしと  
快適なまちの実現

脱炭素社会の実現

女性と若者の定着などにより社会動態をプラスにしていき、SDGsを原動力に地方創生の「成功モデル都市」を目指す

## 基本目標

I 北九州市に魅力あるしごとをつくり、安心して働けるようにする

- 市内企業への新卒就職者数:4,000人
- 市内新規雇用者数:累計30,000人
- 企業誘致による新規雇用創出数:累計4,000人

II 北九州市への新しいひとの流れをつくる

- 移住希望者数 (お試し居住参加者数):毎年50人以上
- 外国人観光客数:70万人(19年実績)
- 北九州空港利用者数:200万人(19年実績)

III 女性の活躍を推進し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業:累計1,600社
- 合計特殊出生率:政令市トップクラスを維持
- 「子育てしやすいまち」と感じる市民(子育て世代)の割合:90%以上

IV 時代に合った魅力的な住みよいまちをつくる

- 「本市に住んでよかった、ずっと住み続けたい」と答えた市民の割合:90%以上
- 「本市への誇りや自信がある」と答えた市民の割合:80%以上

## 具体的な施策とKPI

1 市内企業への就職促進、新たな働き手の確保

(1)若者の市内企業への就職促進

- 市内大卒生の地元就職者数
- インターシップ参加者数
- 市内企業へのUIターン就職者数
- 中高年齢者の就職者数

2 地域経済活性化の推進

(1)創業支援

- 先制設備導入計画認定件数
- 専業手配、M&Aの計画認定企業数
- DX導入企業数
- 若者の雇用創出:拡大につながる企業誘致
- 本社機能等やIT関連企業の誘致による雇用創出数
- 市内ロボット関連産業の雇用者数
- 連携大学院輩出人材人数

(5)風力発電関連産業の総合拠地の形成

- 豊前地区総合拠地の産業用地利用量
- 豊前地区総合拠地利用ファーム数(予定含む)
- 豊前地区総合拠地に向けたグリーン成長の推進
- 再生可能エネルギー導入量
- 公共施設用エネルギー削減率
- 豊前地区総合拠地の産業用地利用量
- 豊前地区総合拠地利用ファーム数(予定含む)
- 北九州空港の大規模な集積・集約
- 北九州空港国際航空貨物取扱量
- 北九州空港利用車数
- 北九州空港の利用率
- 北九州空港の物流拠点化の推進:北九州港の利用促進
- 海上出入貨物取扱量
- コンテナ貨物取扱量
- アジアに向けたビジネス展開や国際貢献
- アジアの理髪人材育成のための研修員の受入数

1 定住・移住の促進

(1)首都圏等からの大規模な人材流入

- 北九州市の競争力度
- 20~30歳代の社会移動の傾向

(2)多文化共生に向けた環境整備

- 市民の多文化共生に対する意識の認知度
- 本市での生活が暮らしやすいと感じている外国人市民の割合

2 観光・イベント等を通じた「関係・交流人口」の創出・拡大

(1)本市にゆかりのある若者等への還元・定着促進

- 就職・事業のマッチング件数
- KitagQサポートラー登録者数

(2)心霊館における交流人口拡大

- 小倉駅前新館オープン期間集客数
- 北九州スタジアム集客数
- 観光客場に向けた取組
- 観光客数
- うち宿泊者数

(4)北九州空港の利用者数増に向けたさらなる路線の誘致・集客

- 北九州空港利用者数(両尺)

1 女性の就業促進

(1)女性活躍推進の充実

- 25~44歳の女性の就業率
- ウーマワークフェア北九州新規利用件数

(2)ダイバーシティ経営モデルの構築

- 北九州イクボス同盟加盟企業数

2 子育てしやすいまち北九州

(1)結婚・妊娠・出産・子育て・教育まで一貫した支援

- 待機児童の解消
- 児童所待機児童数(4月)、保育所待機児童数(10月)
- 放課後児童クラブの利用を希望する児童の受け入れ
- 全国学力・学習状況調査結果平均正答率全国比
- 全国体力・運動習慣等調査結果が全国平均と同等以上の項目の割合

2 地域間連携によるまちの魅力のさらなる向上

(1)関門連携

- 宿泊者、日帰り観光客の消費額
- 関門地域の観光客数

(2)連携中核都市圏の推進

- 都市圏域内の観光客数

1 都市ブランドの構築

(1)シビックプライドの醸成

- 本市が好きなと答えた市民の割合
- 北九州SDGクラブの会員数
- 北九州SDGクラブのプロジェクト数

(2)安全・安心なまちづくりと住民による地域防災の充実

- 防災ハロー活動への参加者数
- 消防団員の充足率
- 文化芸術による創造都市・北九州の発信
- 文化芸術者(身近に感じる)と市民の割合
- 市民の割合
- 海外作品東北撮影・ロケハン件数

(4)職安通などによる働き手確保

- 「北九州モデル」導入を含む職場改善件数

3 コンパクト・ブラス・ネットワークのまちづくり

(1)都市のコンパクト化推進や公共交通機関の再構築

- 居住誘導区域における人口密度
- 公共交通分担率
- 空き家バンク登録物件数
- 空き家バンク成約件数
- 公共施設保有率

(2)都市のリノベーションの推進

- 空き家バンク登録物件数
- 空き家バンク成約件数
- 公共施設保有率

(3)持続可能な地域商業拠点づくり

- 主要商業エリアにおける新規出店数
- 主要商業エリアにおける空き店舗数

## 地方創生推進のための横断的な視点

## ① 国の施策への対応(特区・税制など) ② デジタル技術活用

# 若松区のまちづくり

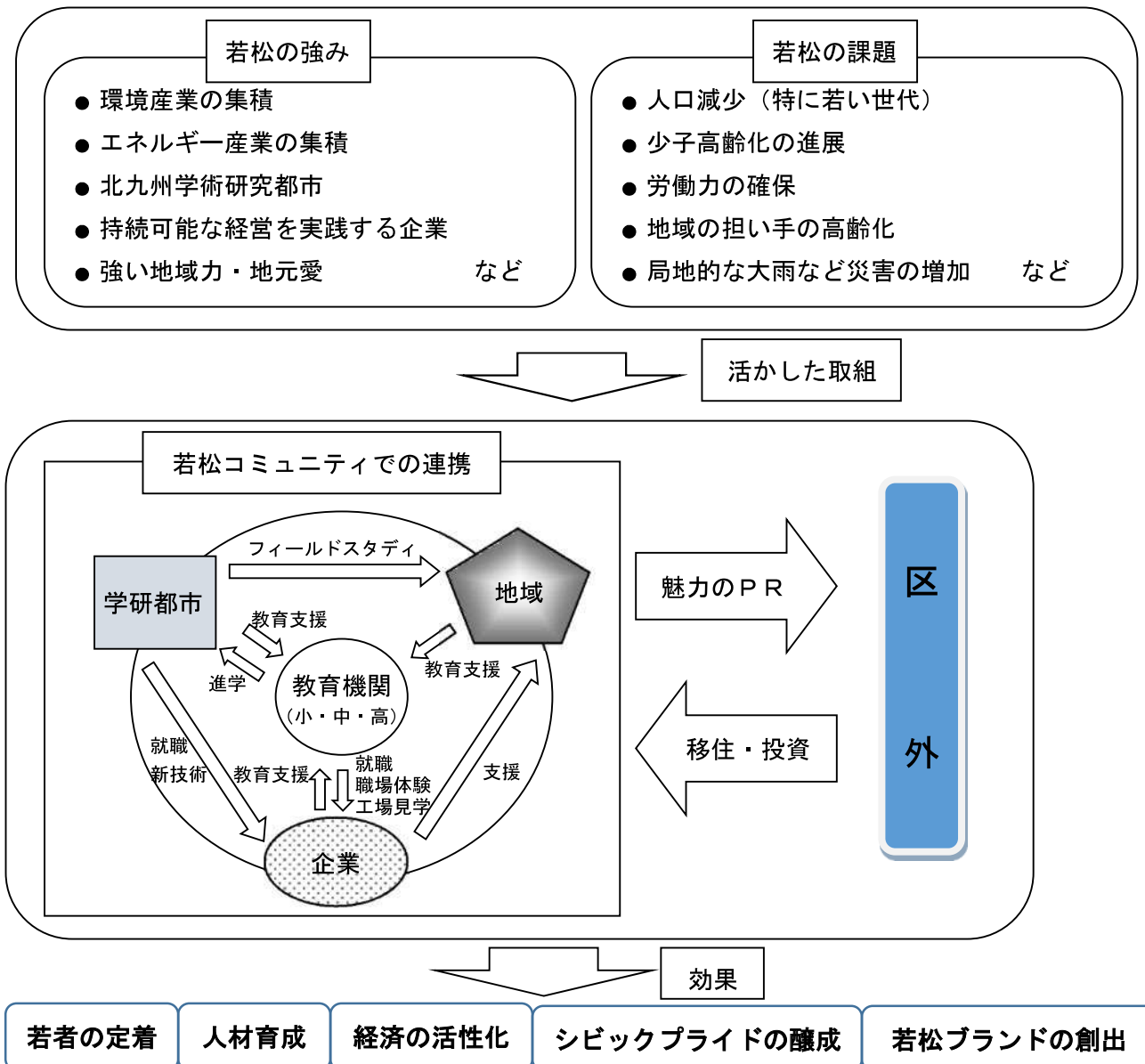
## 若松区におけるSDGs戦略

若松は、

- ① 100年以上活躍する持続可能な企業が多数ある
- ② 環境産業やエネルギー産業が集積している
- ③ 北九州学術研究都市などの研究拠点がある
- ④ 海、山などの自然が豊か
- ⑤ 人情味があり、まちに愛着と誇りを持ち、まちづくりに関心がある人が多い

など、2030年に向けたSDGsの17のゴールの達成に大きく貢献できるまちだといえる。この強みを活かし、課題に取り組むことにより、SDGsの先進的なまちを目指す。

### 《若松区におけるSDGs戦略の展開イメージ》



## 若松区のまちづくり方針

若松区では、「北九州市SDGs未来都市計画」を基に、若松区におけるSDGs戦略を展開していくため、

### 若松の強みを活かした、SDGsのトップランナーとなるまち

を目指し、経済・社会・環境の視点から若松区が目指す姿を掲げ、誇りと生きがいを持ち、誰もが住みたい・住み続けたいと実感するまち・若松の実現に向けて取り組んでいきます。

